

先進と信頼の グローバル・マーケットリーダーを目指して

2012年 5月

アンリツ株式会社
代表取締役社長 兼 グループCEO
橋本 裕一



TSE code : 6754
<http://www.anritsu.com>



注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。



目 次

1. アンリツの事業概要
2. 成長ドライバー: モバイル計測事業の概要
3. モバイル市場の動向と成長性、
及びアンリツの貢献
4. 2020 VISIONおよび3カ年計画

Appendix



-
1. アンリツの事業概要
 2. 成長ドライバー: モバイル計測事業の概要
 3. モバイル市場の動向と成長性、
及びアンリツの貢献
 4. 2020 VISIONおよび3カ年計画



1-1. 事業概要

2012年3月期 連結売上高：936 億円
連結営業利益：144億円

計測事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場
- ▶ ネットワーク・インフラ市場
- ▶ エレクトロニクス市場



産業機械事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機



情報通信事業

- ▶ IPネットワークシステム



(セグメント別売上比率)

計測 75%			産業機械 15%	情報 4%	その他 6%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 30%	エレクトロニクス 25%			

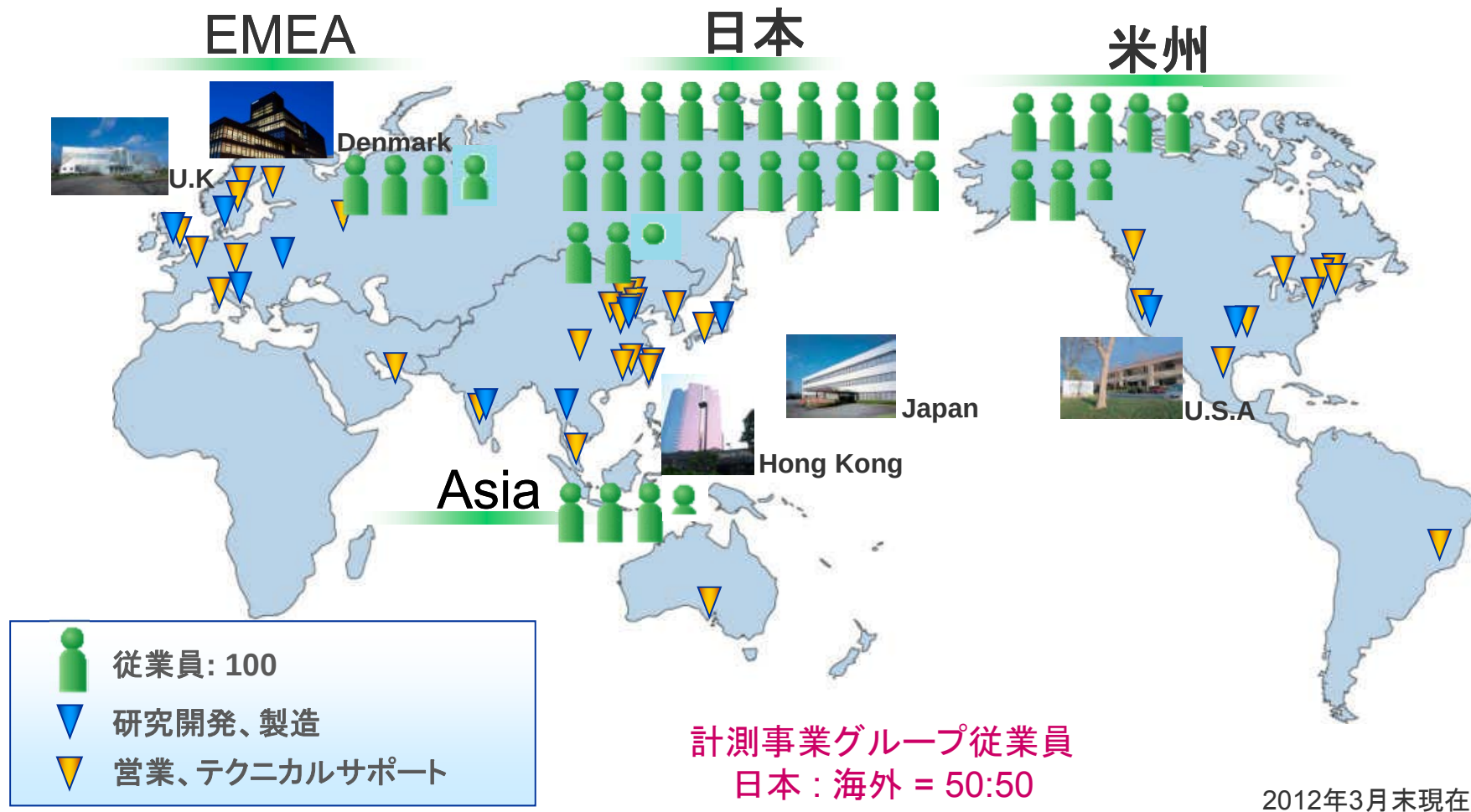
(計測事業 地域別売上比率)

日本 30%	米州 25%	EMEA 15%	アジア他 30%
-----------	-----------	-------------	-------------

1-2. アンリツの強み

モバイル・ブロードバンド社会の発展に貢献する

① 豊富な品揃え ② サポート力 ③ グローバル力



1-3. 中期経営計画(GLP2012、Anritsu 120) レビュー

すべての指標を前倒しで達成

日本会計基準

主な指標	2012年3月期 実績	2013年3月期 GLP2012	2015年3月期 Anritsu 120
売上高 (): 計測売上高	936 億円*1 (705億円)	900 億円 (610億円)	1,000 億円 (700億円)
営業利益率 (): 計測利益率	15.5 % (19.5%)	10 % (10%)	12 % (12%)
ROE	21.5 %	10 %	12 %
ACE*2	91 億円	20 億円	40 億円

*1: Anritsu 120の想定為替レート(1USドル=90円)に換算すれば、1,000億円超(試算)

*2: ACE (Anritsu Capital-cost Evaluation) : 税引後営業利益－資本コスト

-
1. アンリツの事業概要
 2. 成長ドライバー: モバイル計測事業の概要
 3. モバイル市場の動向と成長性、
及びアンリツの貢献
 4. 2020 VISIONおよび3カ年計画

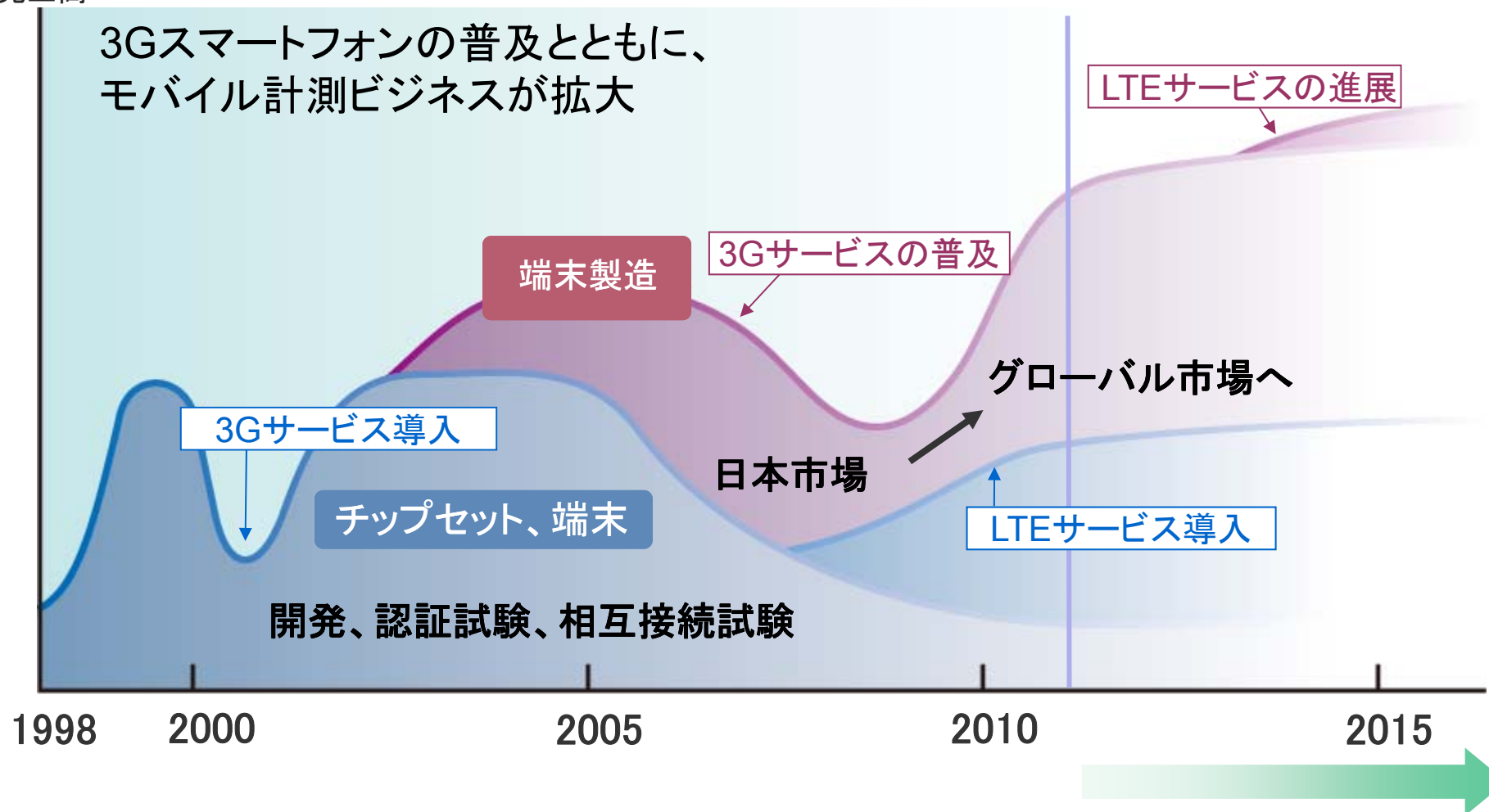


2-1. モバイル計測ビジネスのトレンド

モバイル計測市場(当社推定):1,000-1,100億円

(製造:700-800億円、R&D:200-300億円)

売上高



2-2. モバイル計測事業における強み

*当社推定

モバイル端末開発

マーケットシェア*

LTE

50%



Global
No.1

モバイル端末製造

マーケットシェア*

3G

新規ライン

30 - 40%



Global
Top3

基地局建設・保守用
ハンドヘルド計測器

マーケットシェア*

70 - 80%



Global
No.1

2-3. R&D・製造市場のモバイル計測ビジネスの相違

	R&D市場				端末製造市場	
分野	コア開発	規格適合試験・ 相互接続試験	オペレータ 受入試験	マルチ通信方 式対応の パフォーマンス 試験	専用 ワンボックス テスタ	汎用計測器 (専用ソフト ウェア)
主要 通信 規格	LTE (FDD-LTE, TDD-LTE)				2G/3G/3.5G (GSM/EDGE, CDMA, W- CDMA, HSPA, TD-SCDMA)	
顧客	チップセット/ 端末ベン ダー	チップセット/ 端末ベンダー、 テストハウス、 通信事業者	テストハウ ス、通信事 業者	チップセット/ 端末ベンダー、 テストハウス、 通信事業者	端末ベンダー、 EMS(elec. mfg. services)	
地域	米国, 欧州, 日本, 韓国, 中国				アジア	
アンリ ツの 優位性			◎			○ —

-
1. アンリツの事業概要
 2. 成長ドライバー: モバイル計測事業の概要
 3. モバイル市場の動向と成長性、
及びアンリツの貢献
 4. 2020 VISIONおよび3カ年計画



3-1. モバイル市場の動向と5つのキーワード

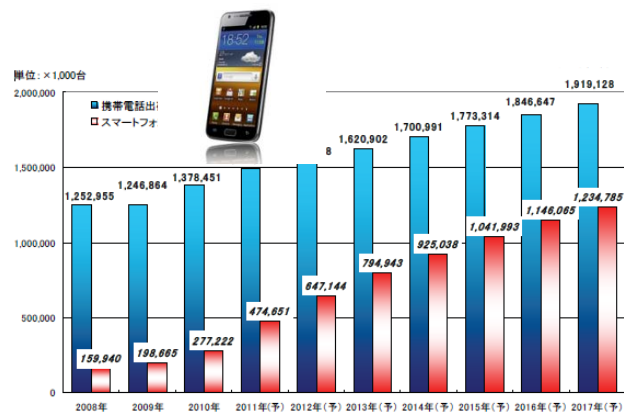
スマートフォンの普及

+

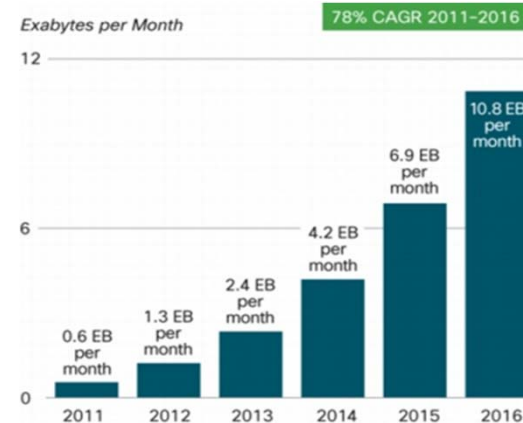
アプリの高度化

=

トラフィックの急増



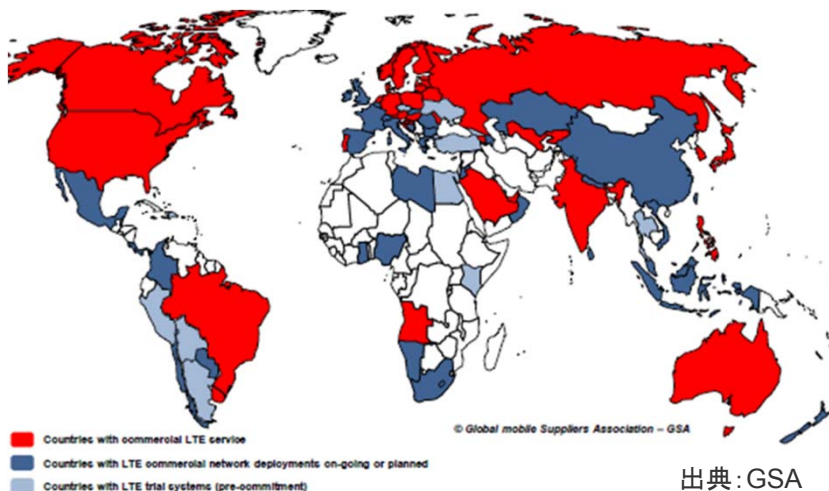
出典: 矢野経済研究所



Source: Cisco VNI Mobile, 2012

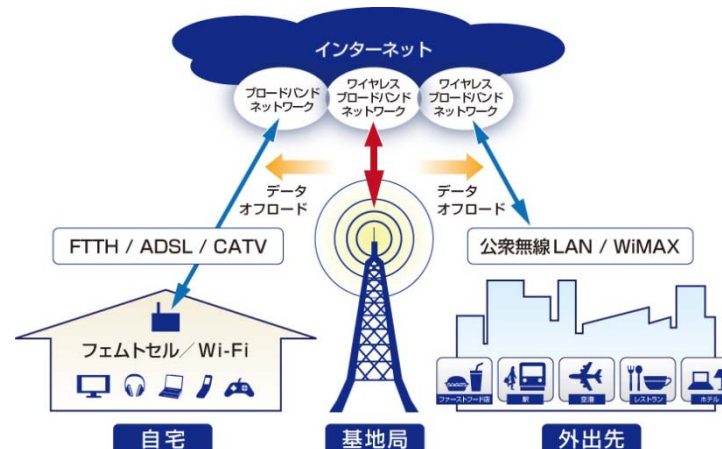
出典: Cisco

LTEサービスの拡大



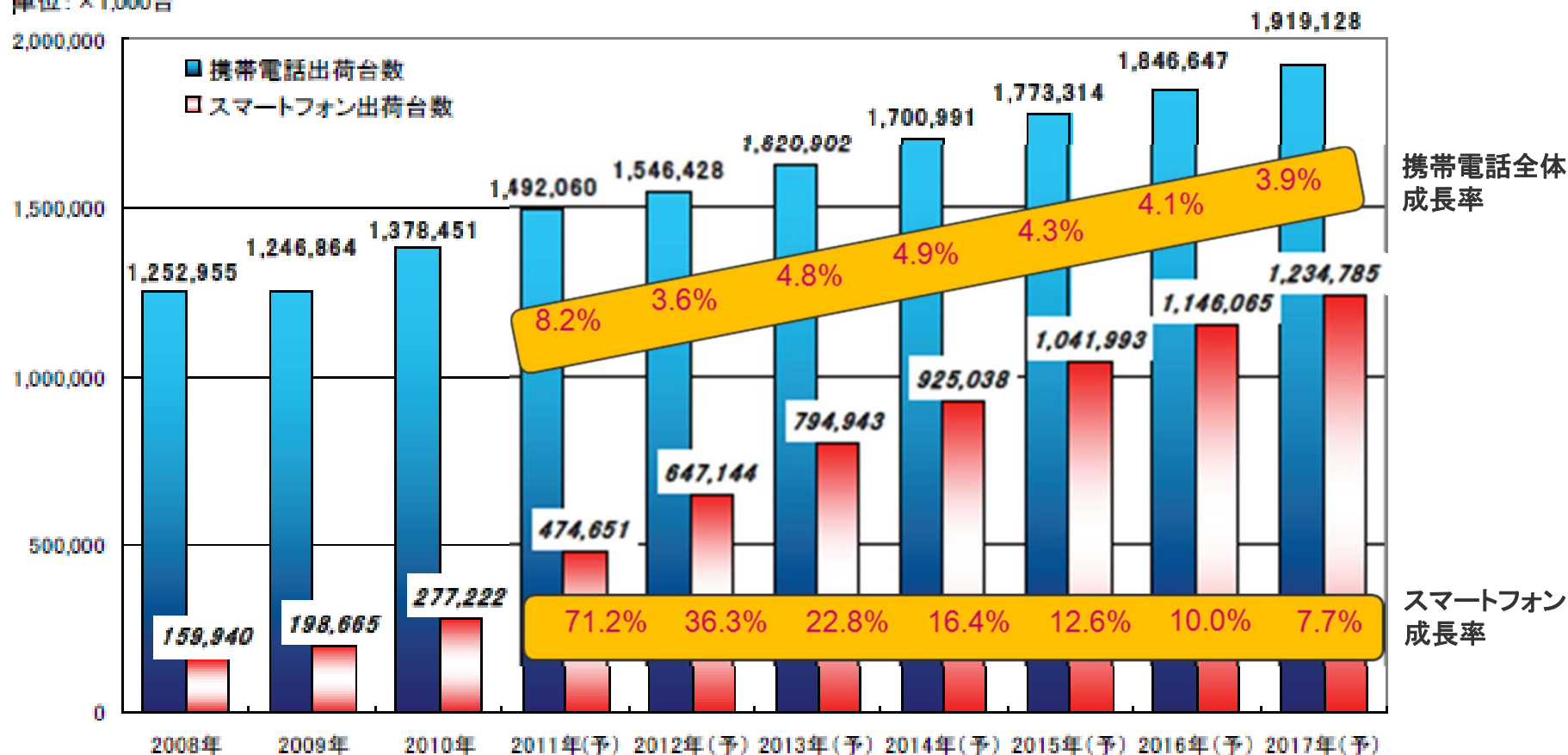
出典: GSA

WiFiデータオフロード



【動向A】スマートフォンの占有率の加速化

単位: ×1,000台



出典: 矢野経済研究所

【動向B】スマートフォンとアプリ・サービスの普及・進展



【動向C】モバイル・データトラフィックの爆発的な増加

Cisco Visual Networking Index:

全世界のモバイルデータトラフィックの予測 2011年-2016年 アップデート

5年間でモバイルデータトラフィックは18倍になると予想される

高性能デバイスによるトラフィック量



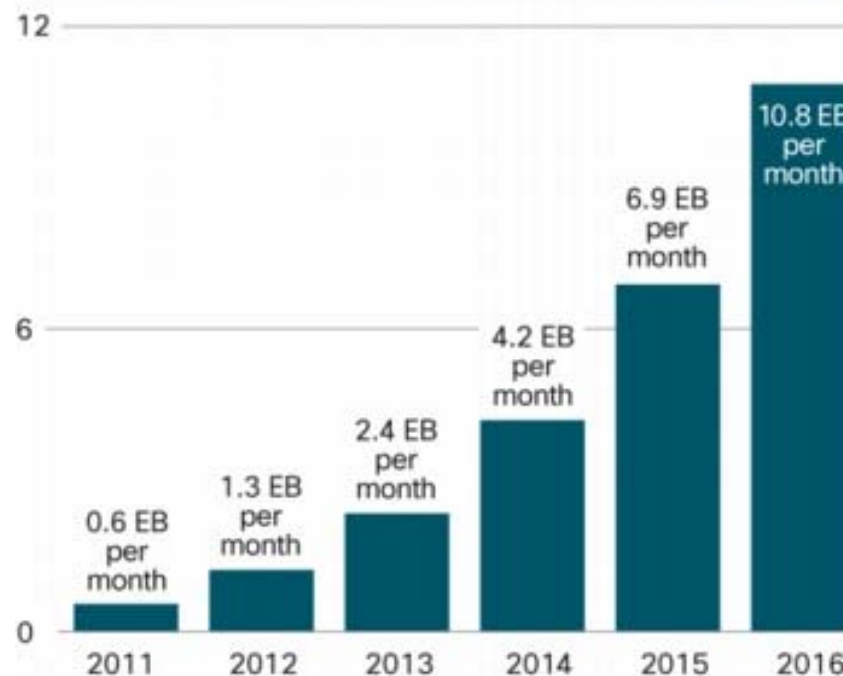
* Monthly basic mobile phone data traffic

Source: Cisco VNI Mobile, 2012

モバイルデータトラフィック量の予測

Exabytes per Month

78% CAGR 2011-2016

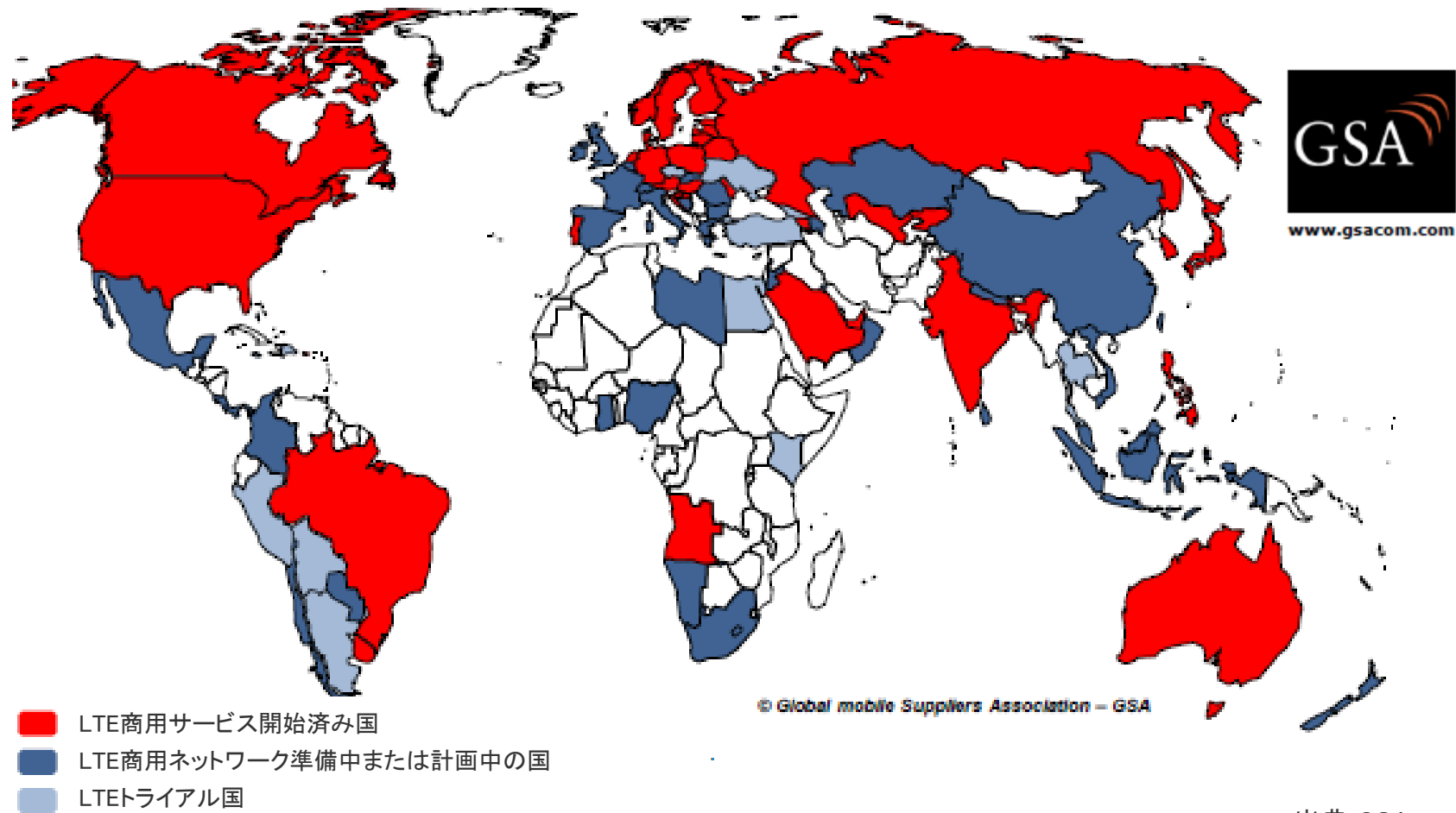


Source: Cisco VNI Mobile, 2012

出典：シスコ

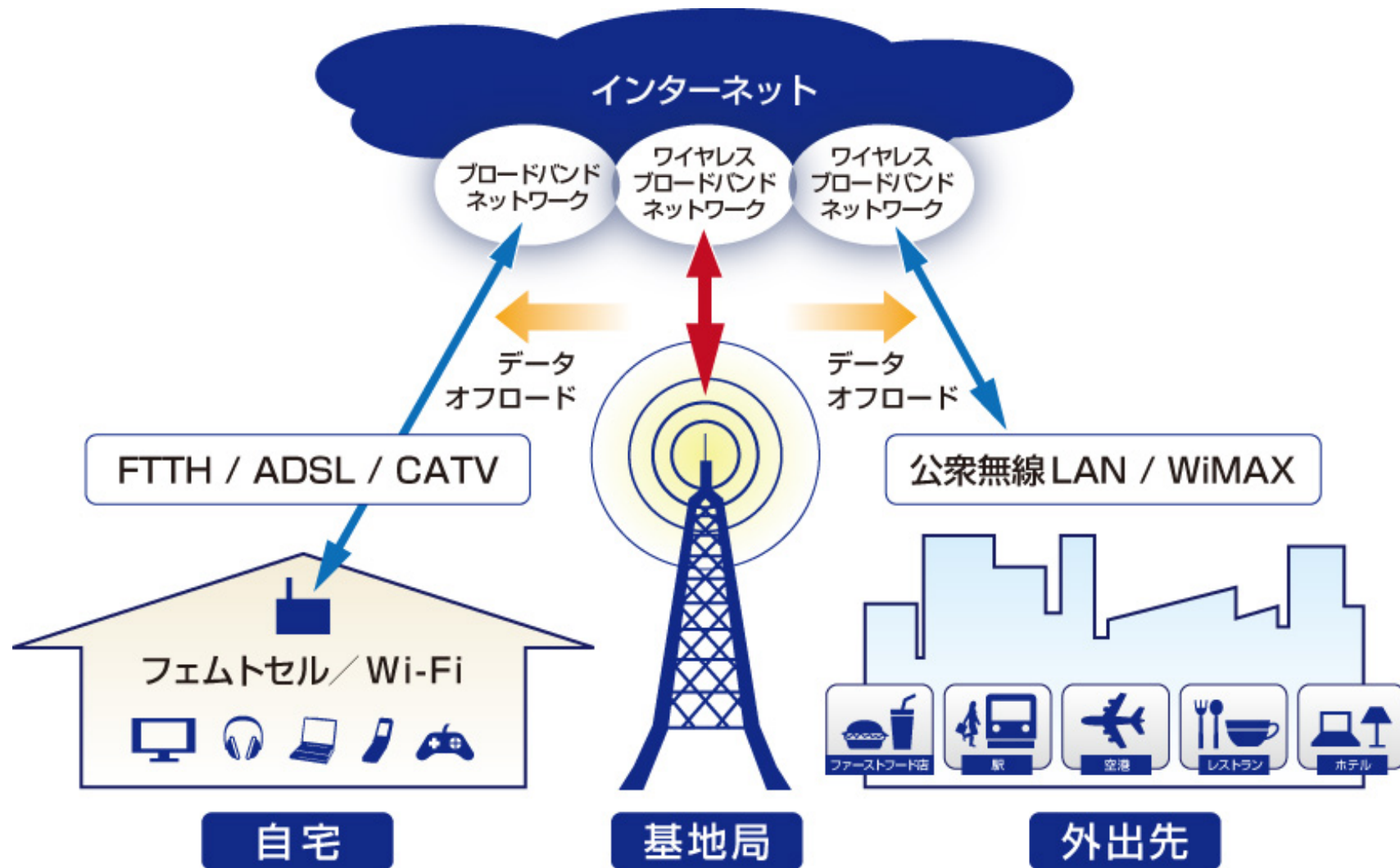
【対策A】急速にサービス展開されるLTE

37か国の72のネットワークでLTEサービス中、84か国の258のネットワークで商用LTEをコミット
2012年末までに、134のネットワークでサービス開始(GSA予測)

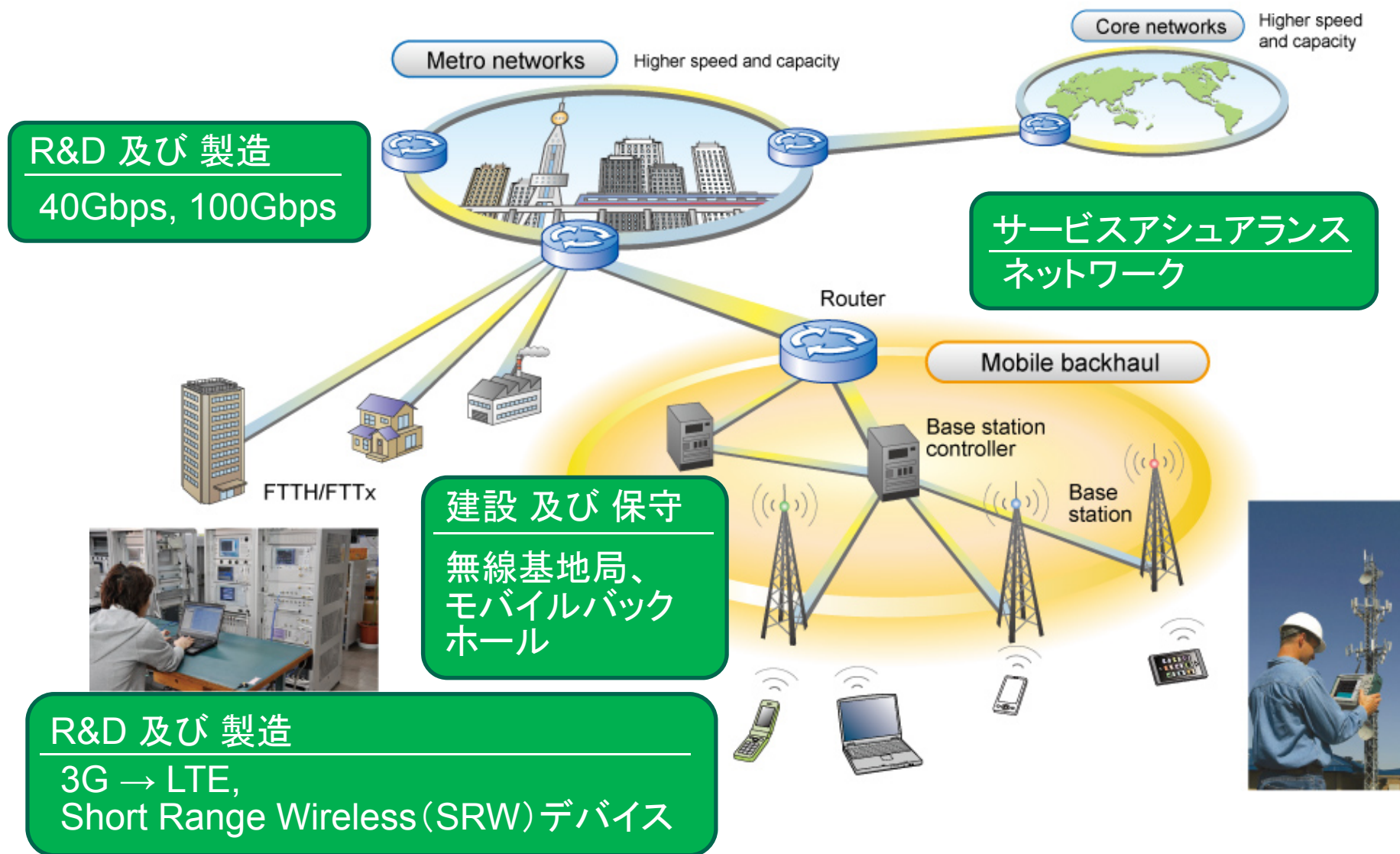


出典 GSA

【対策B】 Non-Cellularデバイス(データオフロード)



3-2. 課題とアンリツの貢献 (1/2)



3-2. 課題とアンリツの貢献 (2/2)

課題 - 1	アクセス系の大容量高速化による ネットワーク処理能力の向上
貢献	LTEの開発、製造
課題 - 2	データオフロードの活用によるトラフィックの平準化
貢献	SRWデバイスの開発、製造
課題 - 3	ネットワーク系(無線～有線)の高速化加速 次世代新技術の早期導入
貢献	基地局の開発、製造、建設、保守 高速通信用デバイス、装置の開発、製造 (オールIP化、40Gbps、100Gbpsなど)
課題 - 4	ネットワークトラブル事前検知によるシステムの安定化
貢献	サービスアシュアランス

-
1. アンリツの事業概要
 2. 成長ドライバー: モバイル計測事業の概要
 3. モバイル市場の動向と成長性、
及びアンリツの貢献
 4. 2020 VISIONおよび3カ年計画



4-1. 2020 VISION



4-2. 中長期の経営基本戦略

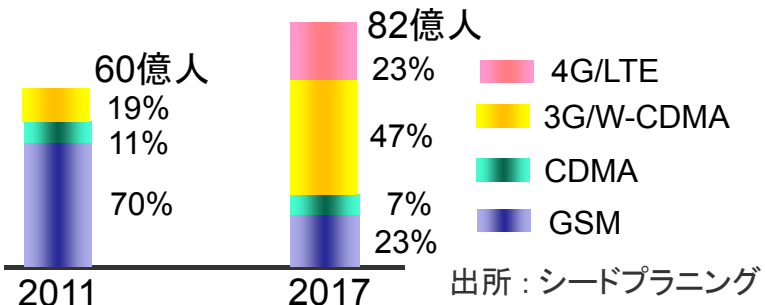
成長ドライバを確実にキャッチして、
“利益ある持続的成長”を実現する

	市場 年平均 成長率	成長ドライバ	ターゲット	
			売上 成長率	営業 利益率
計測	3-5%	①モバイル ブロードバンド サービス市場 ②アジア市場	≥7%	≥20%
産業 機械	3-5%	①アジア市場 北米市場	≥7%	≥12%
連結	—	—	—	≥18%

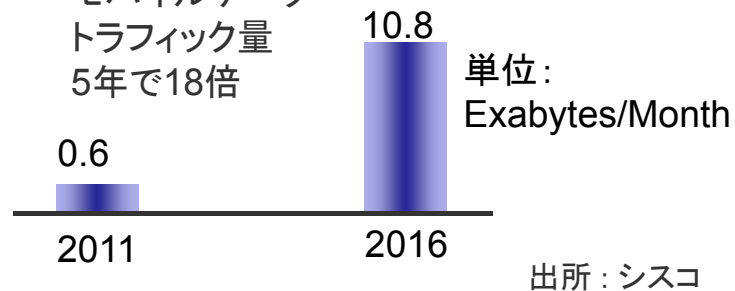
4-3. 事業戦略：計測事業 モバイルブロードバンド市場

【通信市場】

携帯電話加入者数 3G、LTEが普及拡大



モバイルデータ
トラフィック量
5年で18倍



開発、製造、建設、保守用 計測ソリューションの提供



→ スマートフォン / チップセット



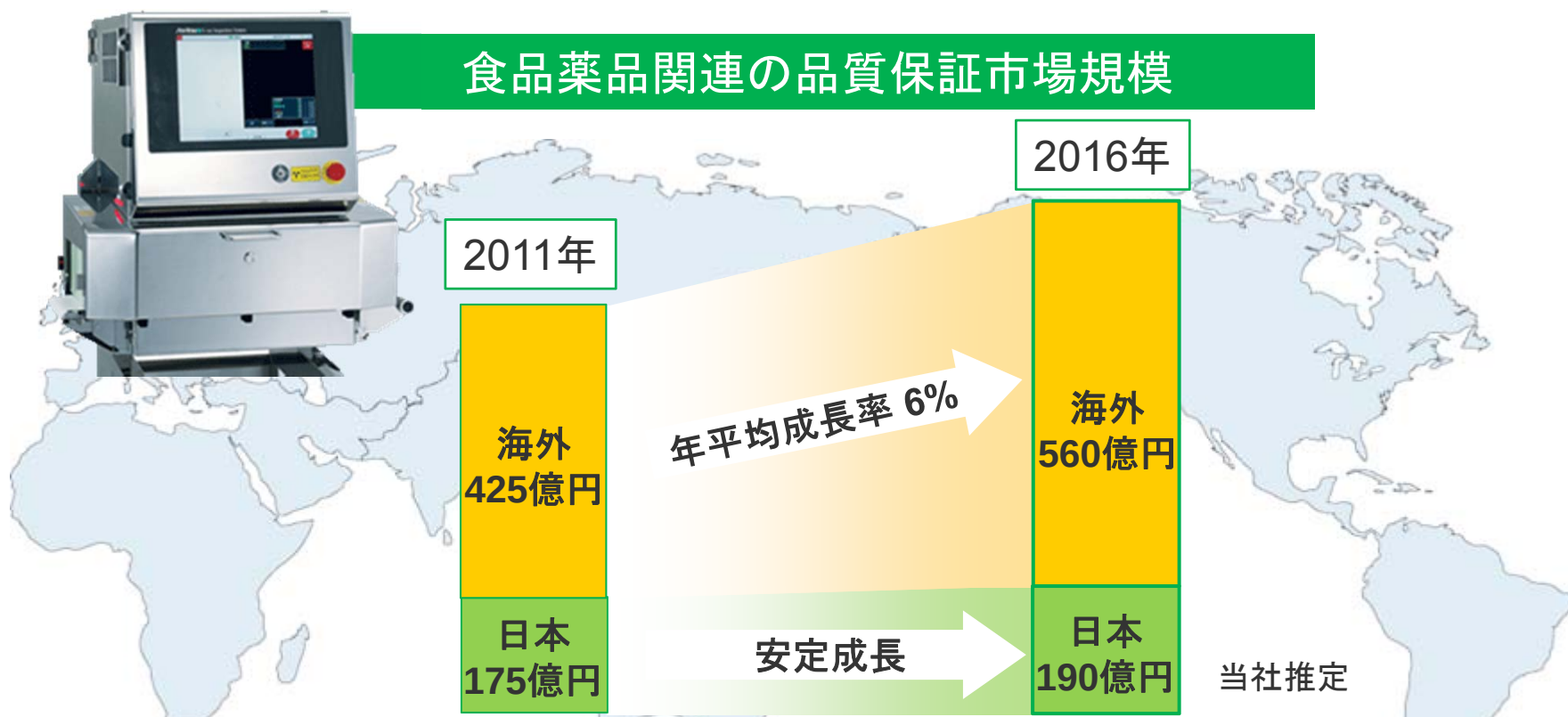
→ ネットワーク・インフラ 基地局、40G/100G光デジタル サービス・アシュアランス



→ 通信用デバイス / モジュール



4-4. 事業戦略：産業機械事業 海外ビジネスの拡大



注力する市場	主な取り組み
アジア：水産加工市場、食肉加工市場 （主に、金属検出/重量選別機）	(1) 食品大手市場でのブランド確立 (2) 新興市場でのローカライズ展開
北米：食肉加工市場 （主に、X線異物検出機）	

4-5. 3カ年経営計画 GLP2014: 数値目標 国際会計基準 IFRS

指標		FY2011 (IFRS 未監査)	FY2012	FY2014
売上高		936 億円	945 億円	1,100 億円
営業利益		139 億円	155 億円	190 億円
当期純利益		81 億円	100 億円	130 億円
ROE		20 %	20 %	20 %
ACE		53 億円	70 億円	90 億円
計測	売上高	705 億円	700 億円	800 億円
	営業利益	137 億円	140 億円	160 億円
産業機械	売上高	142 億円	150 億円	180 億円
	営業利益	5 億円	10 億円	15 億円

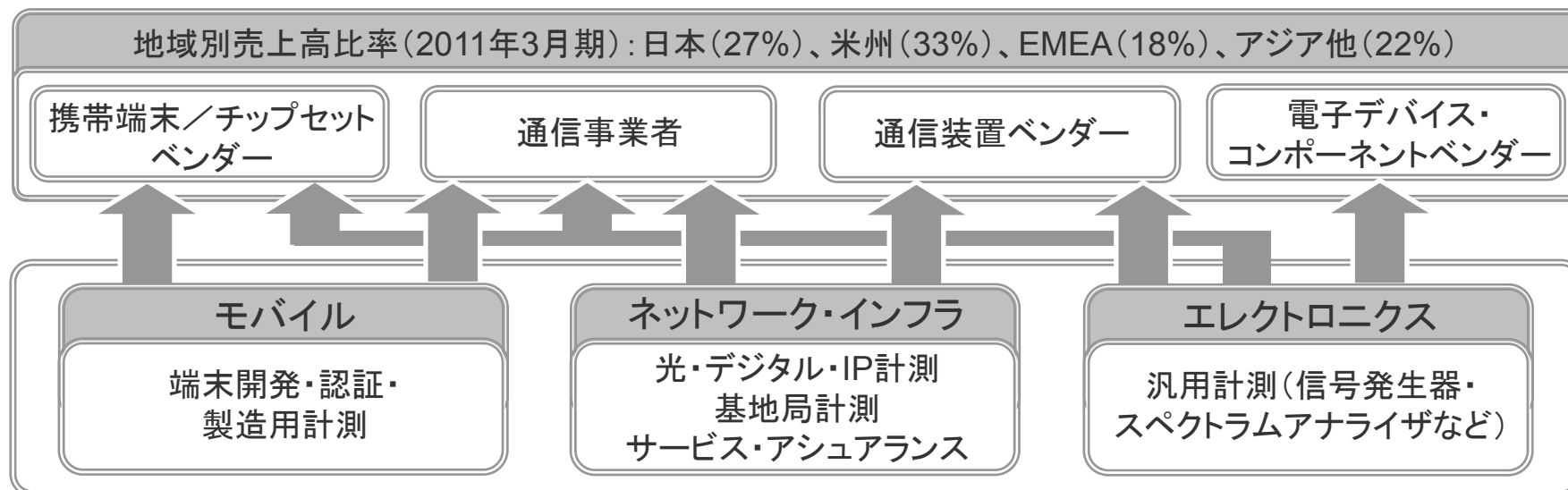
(注) ACE (Anritsu Capital-cost Evaluation) : 税引後営業利益－資本コスト
FY2011実績値は未監査のため、監査により今後変更する可能性があります。

2020 VISION

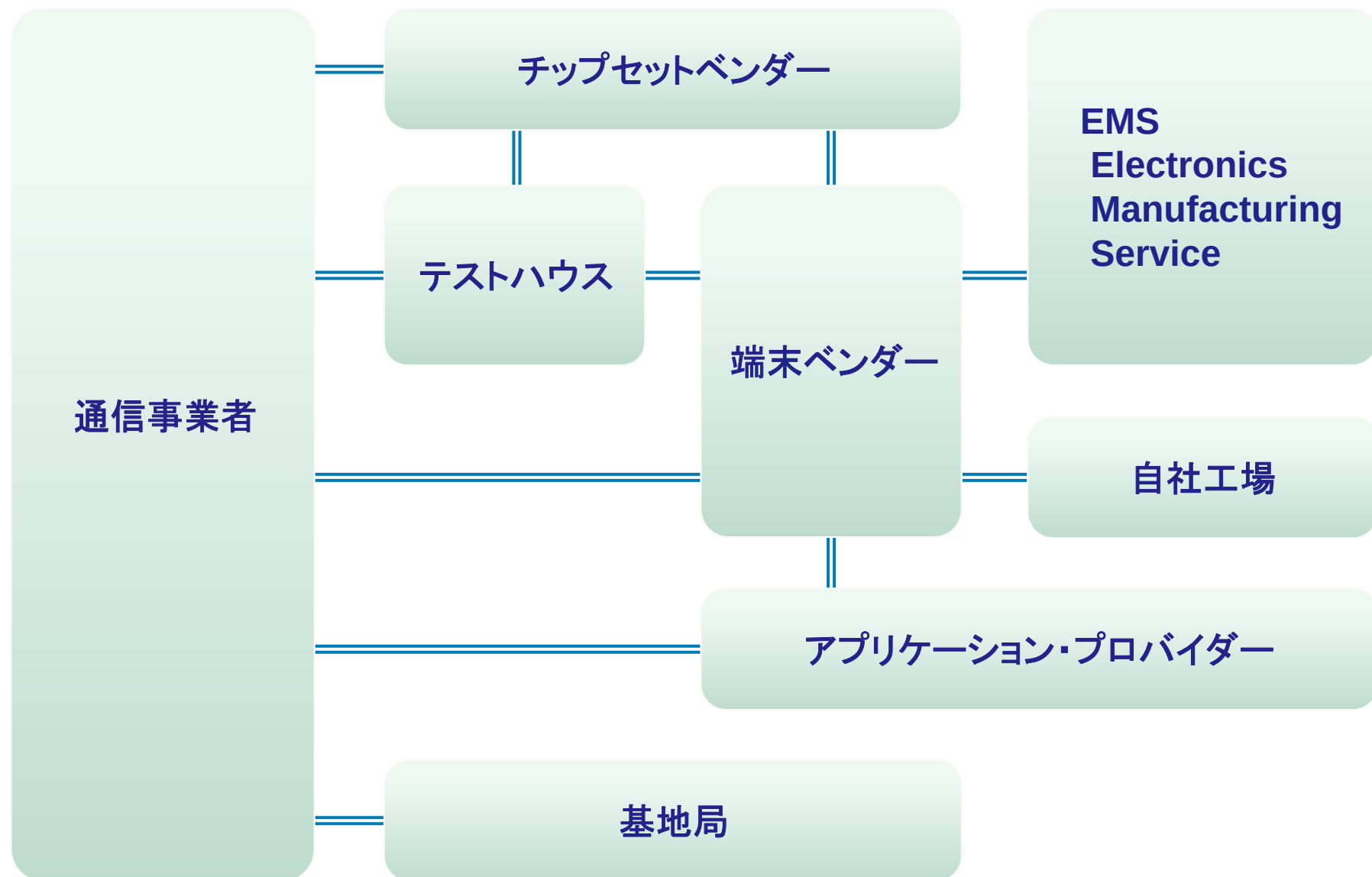


Appendix (1) - 計測事業 顧客とマーケットポジション -

	モバイル市場			ネットワーク・インフラ市場		エレクトロニクス市場	
	R&D	製造	保守	R&D	建設・保守	R&D	製造
フォーカス エリア	LTE (端末開発・ 認証試験)	3G/LTE スマートフォン	携帯端末の 修理・保守	40Gbps / 100Gbps 光伝送	無線基地局 光ファイバ敷設 ネットワーク 品質保証・管理	通信用電子部品 / モジュール (携帯端末 / タブレット端末 / カーエレクトロニクス / 家電など) 無線基地局	
主な顧客	携帯端末 / チップセット ベンダー	携帯端末 ベンダー EMS	通信事業者 携帯端末 ベンダー	通信事業者 通信装置 ベンダー	通信事業者 通信建設業者	電子デバイス / コンポーネント ベンダー、通信装置ベンダー、 携帯端末ベンダー など	
グローバル ポジション (当社推定)	LTE開発用 計測市場 シェア50%	3G携帯端末 製造用計測 市場 No.3	日本市場 No.1	光・デジタル 計測器 No.3	無線基地局用 ハンドヘルド 計測器 シェア70-80%	スペクトラムアナライザ、 信号発生器 No.3	



Appendix (2) - モバイル通信市場の業界構造とプレイヤー -

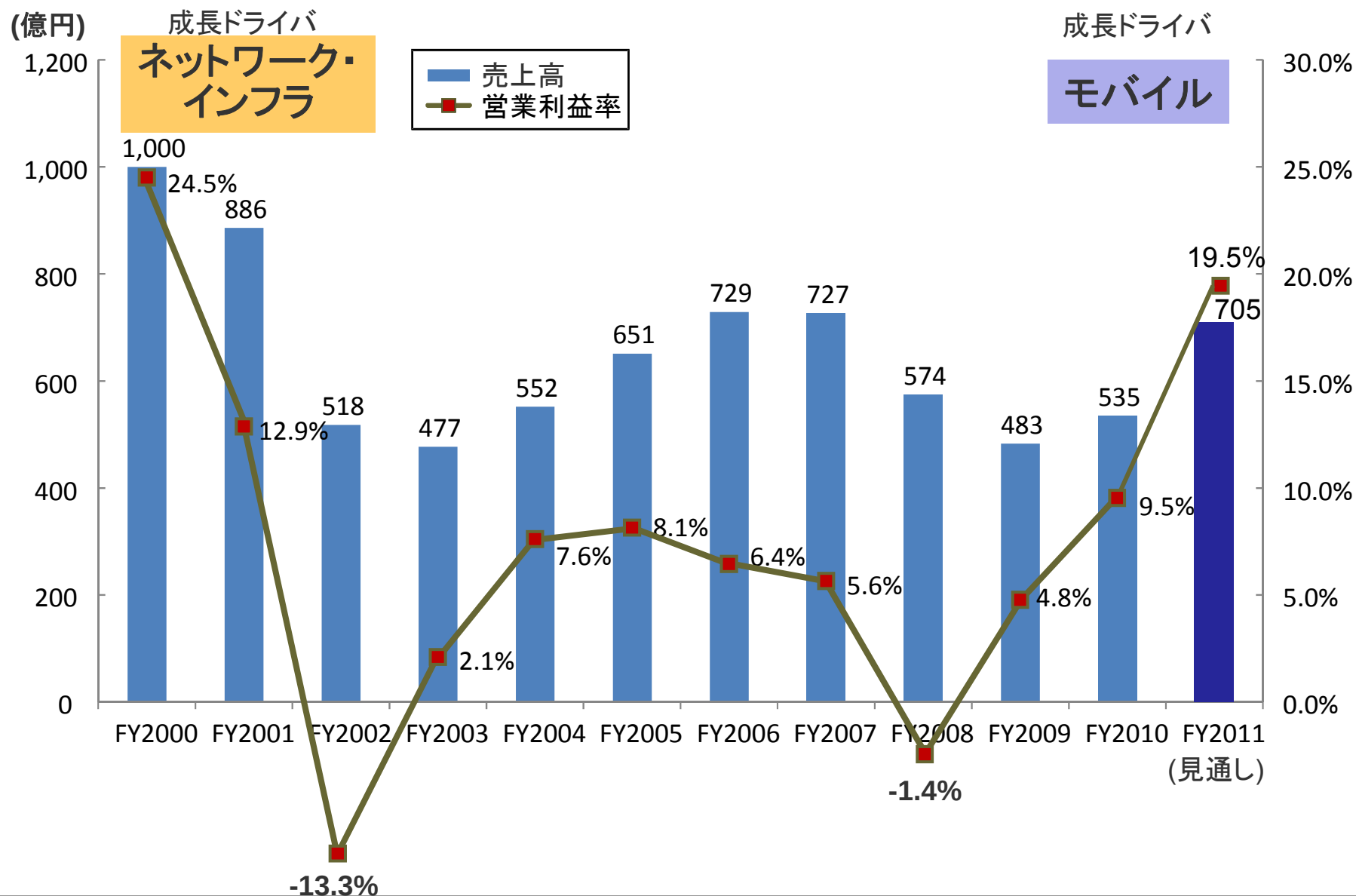


Appendix (3) - モバイル通信市場の主なプレイヤー -

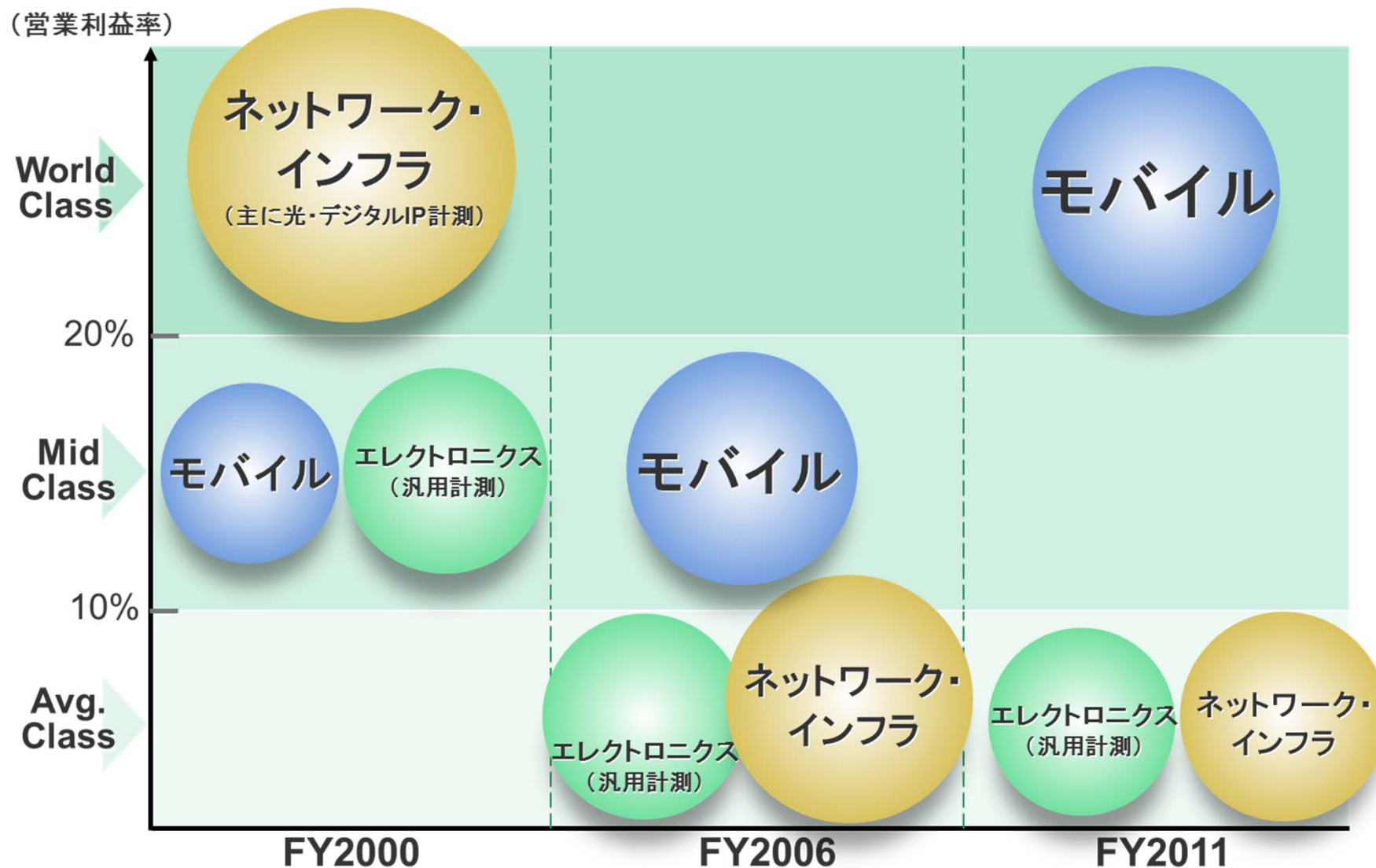
通信事業者	AT&T, Verizon, T-Mobile, China Mobile, China Unicom, China Telecom, NTT DoCoMo, etc.
チップセット	Qualcomm, ST-Ericsson, Leadcore, Hisilicon, TI, Infineon, MediaTek, etc.
端末	Samsung, Apple, HTC, LG, RIM, Nokia, Sony Huawei, ZTE, k-touch, Longcheer, Fujitsu, NEC, Panasonic, etc.
EMS	Foxconn, Asus, BYD, Fosunny, Quanta, etc.
基地局	Ericsson, Alcatel-Lucent, Huawei, etc.



Appendix (4) - 計測事業の業績推移 -

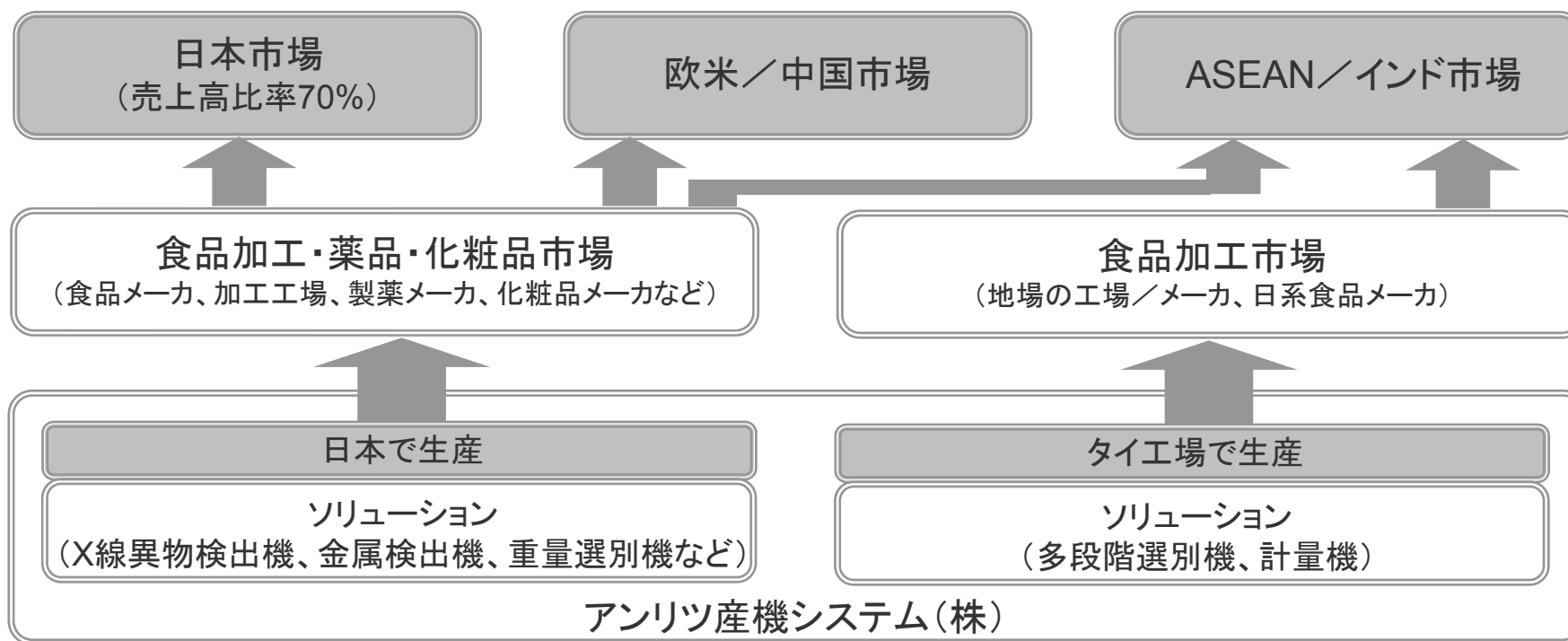


Appendix (5) - 計測事業の収益性の変遷 -



Note: 円の大きさは売上規模を示す

Appendix (6) - 産業機械事業 -



Anritsu

Discover What's Possible™

